

「おかげでさ、するいとな、抜けたとさ」とはやしながら 60 年に一度起こったおかげ参りの話を出口修さんはして下さいました。幕府は自由な旅行を禁じていましたが、宝永 2 年(1705 年)、明和 8 年(1771 年)天保元年(1830 年)に誰が始めたかわからない伊勢神宮への群れが続きました。しかも、日本全国からでその数 400 万から 500 万人と言われていています。普段は 70 万人程度の参詣者数だったそうです。最大の特徴は奉公人が無断で、子どもが親に言わずに参加していったこと。手には柄杓を持ち、道中施しをうけたと言います。当時の人口が 3000 万人とすると最低 6 人にひとりは参詣していたことになります。鴨長明の飢饉の話に関連した本にはおかげ参りの話がでていました。揺れ動いた時代に民衆の力がこういう形ででてきたんでしょうか。



歌川広重「伊勢参宮・宮川の渡し」ネットより

- ① 日時 2025 年 12 月 4 日(木)13 時 30 分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100 円

八幡まるごと館/八幡市男山松里 12-20 (TEL&FAX) 07
5-983-3664
(E-MAIL) yawata@marugotokan.net 作られた
ホームページは <http://marugotokan.net/>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。